

十津川村

十津川村が目指す子育て環境

R元. 8. 26 第2回奈良県・市町村長サミット資料

十津川村は面積が広く、公共交通機関はバスのみです。一日の本数も少なく、買い物や医療機関（産婦人科等）受診時は車が必要で移動に1時間以上かかります。
子供達がいきいきのびのび生活できるようにするため子育て支援の充実を図ります。

1 基本データ <県記載>

・順位は県内市町村の降順
・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）

増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲36.6% (▲6.2%)	28位	▲18.7% (▲2.1%)	30位	▲17.9% (▲4.1%)	30位

②合計特殊出生率

H20～24年（年率）	順位	対H15～19年（年率）増減	③有配偶出生率 (15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数)	
			H27年	順位
1.49 (1.29)	2位	+0.02 (+0.06)	82.1 (74.4)	5位

④出生数（人）

H30年	⑤年少人口割合（15歳未満）		
	H30年10月	順位	対25年10月増減
18 (8,947)	8.3% (12.0%)	27位	+0.1 ^ホ イ ^ト (▲0.7 ^ホ イ ^ト)

⑥子育て世代割合（25～44歳）

H30年10月	順位	対25年10月増減
13.8% (20.7%)	30位	▲1.9 ^ホ イ ^ト (▲3.8 ^ホ イ ^ト)

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 母親同士が交流を持つ場が少ないため、孤立してしまう可能性がある。
- ② 育児によるストレスが増強することでネグレクト等が行われる可能性がある。
- ③ 発達面等で気になる子どもを持つ保護者の不安が大きい。
- ④ 保育所の障害児受入れを実施しているが専門知識がある職員の不足。
- ⑤ 子どもの居場所づくりの長期休暇時の課題。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方（目指していること）

- ① 保護者が孤立せずストレスや不安軽減のため身近に相談できる場を増やす。
- ② 関係機関との連携を充実させる。
- ③ 妊娠期から信頼関係を築き、切れ目ない支援を実施する。

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 妊娠届出時の面接で、チェックリストを用いたリスクアセスメントチェックを行い、個別支援の充実に努めている。
- ② 自閉症スペクトラム支援士および作業療法士による療育教室を村で実施（対象：発達面等で気になる子どもやその保護者）。
- ③ 小学校へ安心して就学できるように、5歳児相談を全員に実施。
- ④ 平成30年度から保育料の無償化（延長保育含）
- ⑤ 平成29年度から保育所の給食費無償化

5 多様な主体による子育て支援の取組

- ① 地域住民や関係機関で親子を見守る体制づくりを実施。
- ② 地域住民と情報提供できるような関係づくりを充実させる。

詳しくは 十津川村ホームページ
<http://www.vill.totsukawa.lg.jp/>